

感染防止対策は万全です 安心・安全な健康診断

健康診断の会場は、皆さまに安心して受診いただけるよう、徹底した感染防止対策を講じています。

ご自身の健康状態の把握と病気の早期発見のため、コロナ禍であっても見送らずに健康診断を受診しましょう！



密集を避けるための
時間別予約制



発熱を確認するため
全員に検温を実施



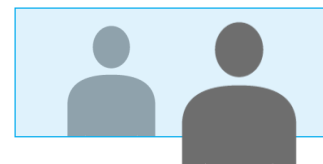
手指の消毒



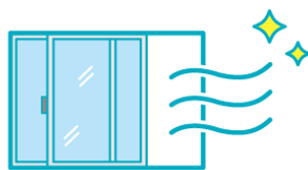
マスク・フェイス
ガードの着用



密接を避けるため
一定距離の確保



飛沫感染を防ぐため
アクリル板等を設置



密閉を避けるため
こまめな換気



検査機材のこまめな消毒と
抗ウイルス剤を塗布



健診スタッフの
毎日の体調管理

当協会の感染防止対策は、ホームページからもご覧いただけます。



けんこうリンク
公益財団法人 茨城県総合健診協会

コロナ禍でも がん検診は必要です

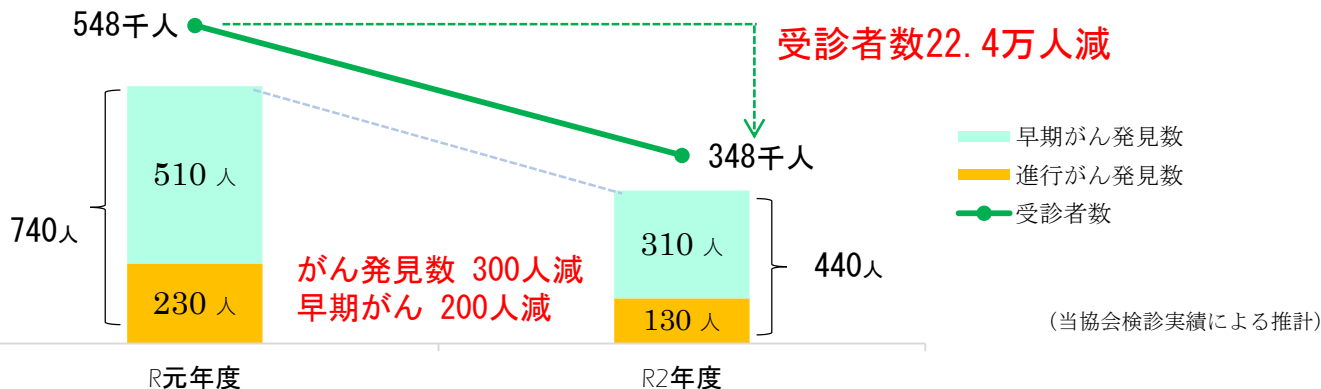
「コロナでも 変わらぬ習慣 がん検診」

2021年度がん征圧スローガン

発見が遅れて、がんが進行していたら大変です

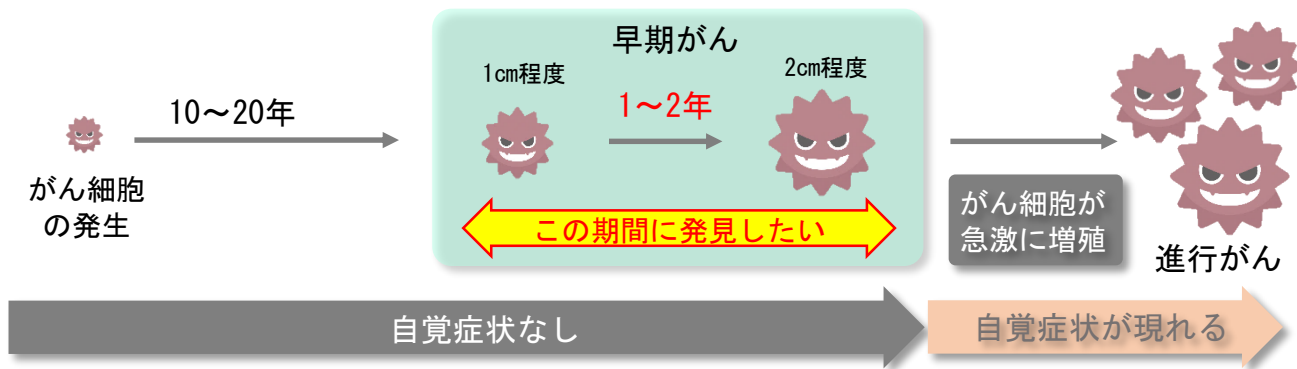
がん発見数の激減

受診者数の大幅減少に伴い、本来、検診で見つかったはずの多くの「がん」が発見できていません。



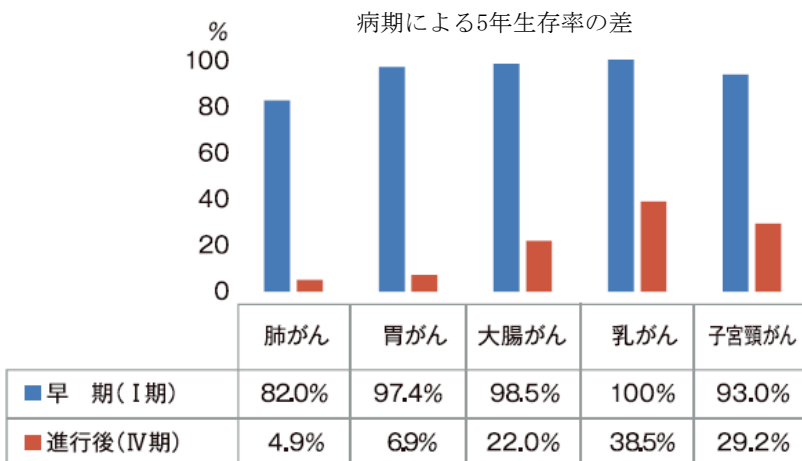
早期発見機会の喪失

検診の中止などにより、本来、早期に発見できた「がん」が進行する恐れがあります。



生存率への影響

「がん」が進行し、自覚症状が出てから「がん」が見つかったら、生存率が極端に低くなります。



「検診をしないということが大きなリスクになる」

東京大学医学部付属病院
(厚生労働省がん対策推進企業アクション議長)
中川 恵一 氏

「がん診断数の減少により将来のがんによる死亡の増加が懸念される」

世界肺がん学会
理事長 光富 徹哉 氏

全国がん(成人病センター) 協会加盟施設の生存率共同調査結果